

## 新任議員研修会に参加

7月25日、北海道町村議会議長会主催の新任議員研修会が釧路市で開かれ、音更町議会からは6名の議員が参加した。

講師は、元全国都道府県議会議長会事務局次長の鶴沼信二氏が務め、「地方議会（議員）の制度の運営に関する基礎的事項について」を演題として2時間ほど講話いただいた。

講話では、議会の役割や議会の主な権限を根拠となる地方自治法と照らし合わせながら説明を受けた。議会の3つの本質的役割として、地域の課題を解明し周知する政策形成機能を持ち、議員同士で審議し修正を行い住民にとっての最善を目指す審議・決定機能がある。そして、住民代表機能として大切なことは、住民の中には様々

な考え方があることをふまえ、決定事項に対し不満の声が挙がる場合もあるが、納得できるように説明を行い、理解を得ることも役割の一つとして重要であるということであった。また、議員の役割は、地域の代表から住民全体の代表となったことを自覚し、個人の独断的言動を慎み、自己の意見にこだわりすぎないことなどが挙げられ、我々新任議員が今後の議員活動の際に常に意識すべき点であることを改めて実感した。他に議会の運営など、今後の議会に臨むためにも知っておくべき事項を丁寧な説明で教わることができ、参加した議員からは、議員としての基礎を知ることができたためになった、今後の活動に役立てたいという声が聞かれた。

## 姉妹町 軽米町を訪問

令和5年7月18日から20日までの3日間、高瀬博文議長と2期目の議員6名で姉妹町である岩手県軽米町を訪問した。当初令和2年に訪問予定だったがコロナ禍で延期となり3年越しの訪問となった。

軽米町では山本賢一町長、松浦満雄議長をはじめ議員の皆さんに熱烈に歓迎していただき、町の概要や議会運営についての説明を受け、意見交換を行った。

その後、町の施設などを視察したが、その中でも印象的だったのは、本年12月利用開始予定のかるまい文化交流センター「宇漢米館」(うかめかん)だ。この施設は老朽化した中央公民館と図書館の建て替えに伴い、多世代型多目的交流施設として整

備され、ステーション、フィットネスジム、キッズスタジオ、子育て支援センター、バスター待合所など町民のあれも欲しい、これも欲しいが全て詰まったような施設で、子どもから高齢者の方までみんなに優しいデザインを取り入れており、館内は明るく、ぬくもりを感じ、多くの町民が笑顔でそこに集う様子が容易に想像できる施設だ。

また、漫画「ハイキュー」をご存じだろうか。高校バレーボール部を題材にした漫画なのだが、町職員の方に立ち話で伺った話では、このアニメ化した漫画「ハイキュー」の作者が軽米町出身で作中の設定では仙台市が舞台となっているが、随

所に背景として軽米町の街並みが描かれていて、近年若い方が聖地巡礼と称し多数訪れているとのことだ。ちなみに作中に音駒高校という架空の高校が登場するが、わが町音更町をオマージュしたものではないかと推測される。

軽米町の人口は本町の約5分の1と規模の違いはあるが、ご縁を大切にして交流を深め、町づくりについて相互に刺激しあえる関係が続いていけるよう、日々の活動に尽力したいと改めて感じた。



姉妹町の軽米町議員と一緒に